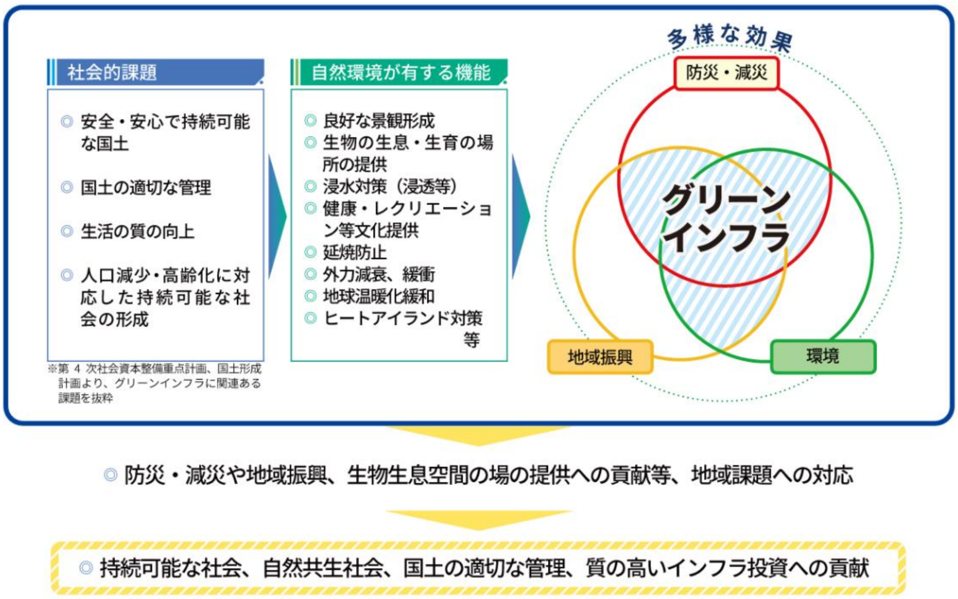
（３）グリーンインフラ

「グリーンインフラ」とは，社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において，自然環境が有する多様な機能を活用し，持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。(「グリーンインフラ推進戦略（令和元年７月４日公表)」より）

我が国の社会は気候変動や国際的な都市間競争，人口減少による土地利用の変化や高齢化，インフラの老朽化による既存ストックの維持管理など，多岐にわたる課題への対応が求められており，その解決策の１つとして「グリーンインフラ」への注目が高まっています。

多機能性が特徴である都市公園は，グリーンインフラのひとつとして，よりいっそう有効活用していくことが求められています。



【図】グリーンインフラの考え方

図 3-3　グリーンインフラの概要

出典：国土交通省ホームページ「グリーンインフラポータルサイト」

（４）地域とのかかわり

人口減少，少子高齢化社会，財政難等への対応の必要性から，地域の持続性確保，良好な環境形成，地域の価値向上のために，「エリアマネジメント」，「地域経営」などと呼ばれる地域との関わりによる取組が求められています。

都市公園においても，住民やNPO，企業など多様な主体が連携・協働を図り，各主体の役割分担のもと公園の整備，管理運営を行う取組が全国的に行われています。

都市公園がボランティア活動の場となることで，住民に生きがいと生涯学習の機会を提供するとともに，地域を担う人材育成につながる効果が期待できます。

都市公園がコミュニティ活動を支援し，一定の範囲において地域をマネジメントする拠点にもなり得ます。

地域を意識した都市公園の整備，管理運営を行うことで，従来の公園機能の範疇にとどまらない，地域における拠点的機能を担うことが期待されます。

（5）都市公園における制度活用（Park-PFI 等）

人口減少や地方自治体の財政制約等が深刻化する中，魅力ある都市公園を官民連携により創造するための手法として,「指定管理者制度」や「設置管理許可制度」,「公募設置管理制度（Park-PFI）」などの導入が進み，民間参入による公園の整備，管理運営の取組が全国的に広がりを見せています。

都市公園の整備や管理運営にこれら手法を採用し，民間ノウハウ活用の最大化を図ることで，公園利用者へのサービス向上や財政縮減の実現が期待されます。

図 3-4　公募設置管理制度（Park-PFI）のイメージ

出典：国土交通省「都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活動ガイドライン」，平成 30 年８月 10 日改正

（6）観光・レクリエーション

国土交通省の「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」によると，都市公園は，地域の資源や文化と一体となり，観光資源として多数の観光客を誘引し，地域の観光振興に寄与するとされています。都市公園が観光拠点となることにより，物販・飲食・宿泊等の観光消費の拡大や他の観光関連施設への波及効果なども期待されています。

都市公園の観光振興としては，公園自体の景観形成による利用者の増加や歴史的資源との連携，自然やアートとの融合，民間活力導入による賑わいの創出等が挙げられています。

図 3-5　都市公園における観光振興の事例

出典：国土交通省「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」，平成 28 年５月

（7）クラウドファンディングの活用

地方自治体の財政制約が深刻化する中，地方自治体自ら資金調達を行うクラウドファンディングの活用が注目されています。

クラウドファンディングは，Crowd（人々，一般大衆）と Funding（資金調達）を合わせた造語で，事業者のアイディアやプロジェクトに共感や賛同する一般の人から資金を集める手法であり，以下の表に示す寄付型，購入型，投資型に分類することができます。

クラウドファンディングを実施することにより，行政には，財政負担の軽減や地域の課題の解決，PR やファンづくりなどのメリットがあります。

都市公園においても，クラウドファンディング等を活用した公園空間の整備事例が増えています。

表 3-1　クラウドファンディングの種類

タイプ	寄付型	購入型	投資型 （ファンド形態）
内容	ウェブサイト上で寄付を募り，支援者（寄付者）向けにニュースレターや簡易な品を送付する　等	支援者（購入者）から前払いで集めた代金を元手に製品を開発し，支援者に完成した商品やサービスを提供する　等	仲介事業者を介して支援者（投資家）が資金調達者匿名組合出資契約等を締結して資金を提供し，分配金等を受け取る　等
リワード	なし （寄付）	商品・サービス （購入）	事業から得られる金銭 （金融商品取引）
資金調達規模イメージ	数十万円～数百万円程度	数十万円～数千万円程度	数百万円～数千万円程度
活用場面例	被災地支援，社会問題解決　等	マーケティング，商品開発，事業立ち上げ　等	原材料購入等の運転資金，設備購入のための資金　等
特徴	・リワードが不要 ・寄付先など条件によっては寄付税制が適用される ・サイト掲載時に資金が不要 ・公益性の高い案件に有効であるが事業系には不向き	・サイト掲載時に資金が不要 ・目標額に到達しなければ成立しない All or Nothing 方式のサイトが多い ・瑕疵担保責任が生じる他，特定商品取引法や景表法など消費者関係法の規制対象	・大型案件にも対応可能 ・金融商品取引法の規制対象であり，仲介事業者は第二種金融商品取引事業者としての登録が必要

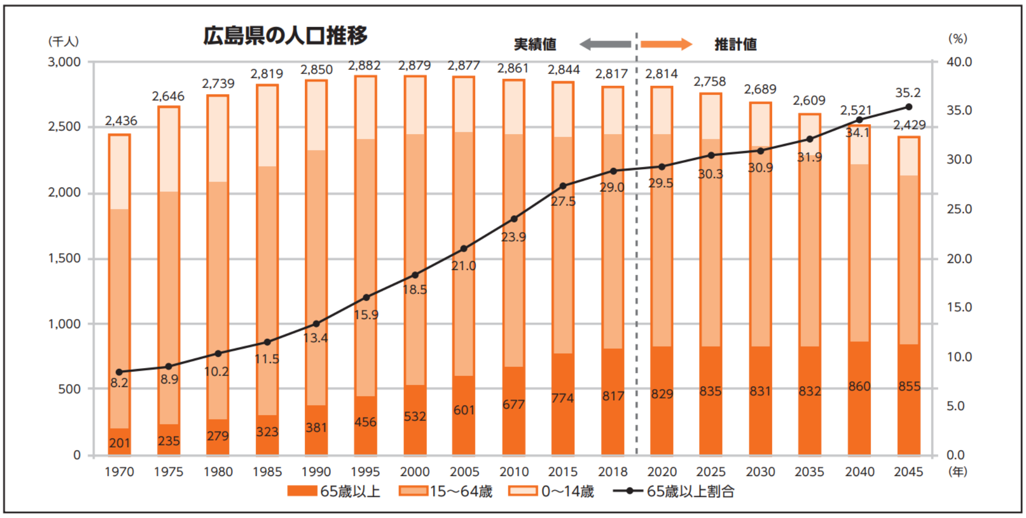
3－2．重視すべき変化

（1）人口減少・高齢化

本県の人口は平成 10 年（1998 年）の 288 万人をピークに減少しており，令和 22 年にはピーク時から約 36 万人減の 252 万人になると推計されています。

高齢者人口は令和７年（2025 年）までは増加が続き，以降減少傾向となりますが，団塊ジュニア世代の高齢化により，令和 22 年（2040 年）には再び増加することが見込まれます。

人口減少・高齢化は全国共通の課題ですが，広島県ではそのスピードが全国平均よりも早く進むことが予想されています。



出典:2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

図 3-6 広島県の人口の推移

出典：広島県地域福祉支援計画

広島県の生産年齢人口（15～64 歳）は減少を続け，「高齢者の急増」から「現役世代の急減」という新たな局面へと転換し，県内総人口に対する年少人口（0～14 歳）は，平成 27（2015）年の約 38 万人に対して，令和 27（2045）年には約 29 万人と大きく減少することが予想されています。

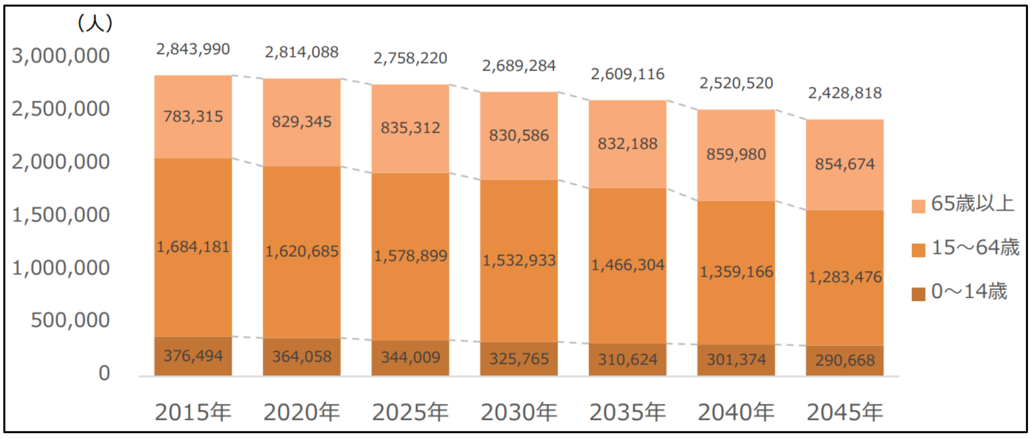


図 3-7 広島県の将来推計人口

出典：ひろしま子供の未来応援プラン（広島県　令和２年３月）

人口減少・高齢化社会に向けて，都市公園のバリアフリー化対応や交流機会の創出などが求められます。

（２）防災・減災

東日本大震災をはじめ，近年，県内でも甚大な被害が発生した水害や土砂災害などを契機に，県民の防災意識は年々高まりを見せています。

表 3-2 県民意識調査の集計結果

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果							R1（目標）	R2（目標）
	H26	H27（10月）	H28（8月）	H29（2月）	H30（2月）	H31（2月）	R2（2月）		
災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	13.2%	27.0%	54.0%	60.5%	57.2%	71.2%	68.5%	83.0%	90.0%以上
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	35.1%	30.7%	32.9%	36.8%	39.4%	29.3%	41.5%	58.5%	60.0%
非常持出品を用意している人の割合	52.8%	51.5%	65.9%	67.6%	67.4%	66.5%	69.1%	-	-
上記を用意し，かつ３日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	-	-	-	46.7%	50.5%	48.1%	52.3%	64.2%	70.0%
家具等の転倒防止を行っている人の割合	-	-	-	43.9%	56.6%	44.7%	49.0%	62.5%	70.0%

行動計画に掲げる成果指標項目	H26	H27（10月）	H28（9月）	H29（2月）	H30（3月）	H31（2月）	R2（3月）	R1（目標）	R2（目標）
県，市町の防災情報メールを登録している人の割合	8.4%	10.4%	11.3%	11.3%	22.8%（※）	27.0%（※）	31.1%（※）	35.5%	40.0%

※ヤフーと協議し，H30.3.27から「ヤフー・防災速報」（スマートフォンアプリ，メール）からも県防災情報メールと同様の情報がプッシュ配信されることとなったことから，この度の数値は，防災情報メールの登録者数に「ヤフー・防災速報」登録者数を加えて算出している。

出典：防災・減災に関する県民意識調査結果（令和２年２月）（広島県みんなで減災推進課）

都市公園が果たすべく役割の一つとして，都市防災に資する防災機能（災害時の避難地・避難路，延焼防止，災害応急対策の拠点）の発揮が期待されます。

都市公園が災害時に防災機能を発揮するためには，防災拠点化に向けた施設整備に加え，公園施設の適切なメンテナンスを推進することが重要です。

県立３公園のうち，みよし公園とびんご運動公園は，避難場所や広域的な災害支援の拠点（救援物資の輸送・集結拠点）などの防災上の位置付けがあります。

表 3-3 県立３公園の防災上の位置付け

公園	防災上の位置付け
みよし公園	・指定緊急避難場所（三次市指定） ・救援物資の輸送拠点
びんご運動公園	・救援物資の輸送拠点 ・救援部隊の集結拠点
せら県民公園	―

出典：地域防災計画（広島県，三次市，尾道市，世羅町）

（3）ライフスタイルに対する新しい価値観

令和２年頃から猛威をふるう新型コロナウイルス感染症により，人々の日常生活，経済，社会全体のあり方，人々の行動様式・意識など多方面に影響が生じています。

ワクチンなどの対策がある程度確立した時期（アフターコロナ）にも，この影響は元には戻らず，いわゆる「ニューノーマル」へ移行していくという見解が強いとされています。

都市公園のあり方として，多様なニーズに応じて柔軟に活用できるオープンスペースの活用が求められています。

表 3-4　感染症拡大を契機に生じた社会の大きな変化

①テレワークの進展 ⇒職住近接のニーズが高まり，働く場と居住の場の融合が起こっていく可能性 ⇒オフィス需要の変化の可能性。老朽中小ビルなどは余剰発生の可能性
②生活重視に意識が変化 ⇒東京一極集中の是正が進みやすくなる可能性 ⇒ゆとりあるオープンスペースのニーズの高まり

参考：新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性の検討について（国土交通省）

（4）持続可能な開発目標（SDGs）

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは，2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり，17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。SDGs は発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。

地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組は，地方創生の実現に役立つものであり，優れた取組を提案する都市として，2021 年度までに本県を含む 124 都市が「SDGs 未来都市」に選定されています。

図 3-8　都市公園に係る施策により貢献が期待される SDGs

（5）カーボンニュートラル

2020 年 10 月，政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする，カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

こうした中，広島県では，カーボン（炭素のこと。炭酸ガス，化石燃料，生物や植物を構成する有機物などとして存在する。）が様々な形で存在し，自然界や産業活動の中で循環し，持続的に共生できる社会経済「カーボン・サーキュラー・エコノミー」の実現を目指しています。

これまでの省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進に加え，二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用，石油由来プラスチックからの代替促進などにより，環境と地域経済の好循環を図りながら，ＳＤＧｓへも貢献することで，日本のみならず世界から注目を集めるような広島型カーボンサイクル構築の取組を推進していきます。

このため，2050 年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して，県民，事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう，「みんなで挑戦 未来につながる 2050 ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行っています。

都市公園でも，再生可能エネルギーの活用や地産地消等の取組が始まっています。

（6）DX（Digital Transformation）

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは，進化した IT を普及させることで人々の生活をより良いものにしていく変革のことです。

広島県では，デジタル技術やデータを活用して，全ての県民が，仕事・暮らしにおいてゆとりを持ちながら，個々のニーズに合った最適なライフスタイルを実現できることを目指して，仕事・暮らし，地域社会，行政における DX の取組を推進しています。

社会経済状況の激しい変化に対応し，インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して，国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革し，国民の安全・安心で豊かな生活を実現する取組が進められています。

公園の維持運営においても，キャッシュレスや予約システム，ＡＩを使った防犯，人流解析などの取組が始まっています。

第４章　目指す姿と課題

４－１．あるべき姿（30 年後）

広島県の総合計画である「安心▷誇り▷挑戦　ひろしまビジョン」における基本理念※1 や目指す姿※2，「社会資本未来プラン」，「都市計画区域マスタープラン」における公園の役割や本来，公園がもつ多様な機能（都市環境形成，活動，憩い，交流，防災など）などを踏まえ，30 年後の県立３公園のあるべき姿を以下のように掲げます。

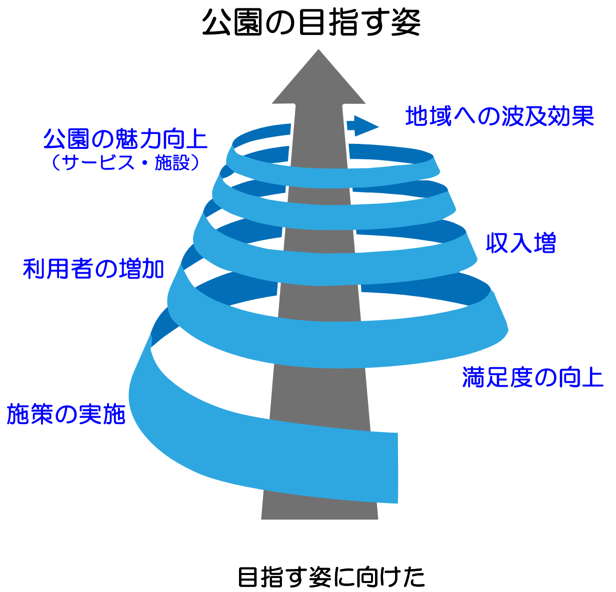
※1：将来にわたって，「広島に生まれ，育ち，住み，働いてよかった」と心から思える広島県の実現
※2：都市県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により，夢や希望に「挑戦」しています
　～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

あるべき姿（30 年後）

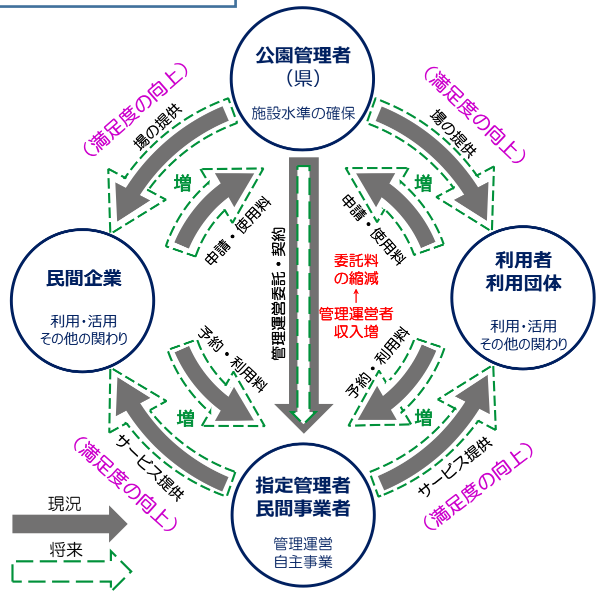
子供からお年寄りまでの誰もが何度でも気兼ねなく訪れたくなる多様性があり，引続き自然と都市の近接性を実感できる場として県民から愛されるとともに，県民の健康・スポーツなどの夢や希望への挑戦を後押しする公園の実現

公園の活性化をきっかけとして「施策の実施（公園の魅力向上）による公園利用者の満足度の向上や利用者の増加を目指し，その結果，公園の収入が増加し，その増加した収益によって，更に公園の魅力向上につなげる」好循環を生み出し，魅力向上し続ける公園を目指すとともに，公園の活性化によって，公園の交流拠点としての役割が強化されることで，地域社会への波及効果も期待できます。

公園活性化による効果のイメージ



目指す姿に向けた
スパイラルアップ



公園利用・管理運営の関係図

4－2．目指す姿（10 年後）

前述の「あるべき姿（30 年後）」を見据えるとともに，「公園の現状と特性」や「公園利用者ニーズ」「社会情勢の変化」を踏まえ，10 年後の目指す姿を以下のとおり掲げます。

<table>
<tr><th colspan="3">目指す姿（10 年後）</th></tr>
<tr><td colspan="3">共通
● 多様な人々から高い満足度を得て，誰でも何度でも訪れたくなり，滞在時間の長い施設となっている。
● 気軽に予約・利用ができるなど，利用者へのサービスが行き届いており，満足度が高い施設となっている。
● 民間事業者や地域住民等が公園運営にも参画しており，公園全体の魅力が向上し続けている。</td></tr>
<tr><th>みよし公園</th><th>びんご運動公園</th><th>せら県民公園</th></tr>
<tr><td>● 備北圏域の誰もが何らかの関わりを持ち，地域に開かれた公園として積極的に利用されている。また，高速道路でのアクセス性の良さを生かし，文化活動・企業活動などが盛んに行われている。
● スポーツ及びレクリエーション施設では施設水準が適切に維持され，備北圏域を代表するスポーツ施設として様々な大会等が行われており，屋外ではゆったりと楽しめる，憩える空間が広がっている。</td><td>● 尾道市を中心とする備後圏域の誰もが何らかの関わりを持ち，地域に開かれた公園として積極的に利用されている。
● スポーツ施設では施設水準が適切に維持され，県内スポーツにおける中核施設として様々な大会開催・イベント等が行われている。また，施設更新時には，利用者ニーズに柔軟に対応するなど，レクリエーション施設も充実し，長時間楽しめる，憩える空間となっている。</td><td>● 原風景が広がる自然観察園では，自然観察や環境学習などが盛んに行われ，地域に欠かせない施設となっている。
● ゆったりと憩える空間が形成されており，周辺観光施設を周遊するファミリー層が，立ち寄ってみたくなる公園となっている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="6">目標指標</th></tr>
<tr><th>項目</th><th>対象公園</th><th colspan="2">現　況</th><th colspan="2">将　来（10 年後）
（手だてを講じない場合）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">●利用者数</td><td>みよし公園</td><td>約 70 万人</td><td rowspan="3">約 173 万人</td><td>約 70 万人
（約 63 万人）</td><td rowspan="3">約 182 万人
（約 160 万人）</td></tr>
<tr><td>びんご運動公園</td><td>約 70 万人</td><td>約 77 万人
（約 70 万人）</td></tr>
<tr><td>せら県民公園</td><td>約 33 万人</td><td>約 35 万人
（約 27 万人）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">●満足度</td><td>みよし公園</td><td>86%</td><td rowspan="3">86%</td><td>約 90%</td><td rowspan="3">約 90%</td></tr>
<tr><td>びんご運動公園</td><td>89%</td><td>約 90%</td></tr>
<tr><td>せら県民公園</td><td>78%</td><td>約 80%</td></tr>
</table>

※現状の利用人数は，平成25年以降における公園施設の大規模修繕や高速道路の開通，新型コロナウイルス感染症などの外的な影響が少ない年度の平均値を採用しています。

４－３．現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ

現在の公園の状況から何の手立ても講じない将来の姿と，目指す姿を比較した場合，30 年後のあるべき姿の実現に向けて，公園活性化における好循環を生み出すため，「満足度の向上」「リピート率の向上」「新規利用者の開拓」「収入増」「コスト縮減」の５つの視点から見ると，以下に示すようなギャップがあります。

（多様なニーズや多様性に係るギャップ）

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て，誰でも何度でも訪れたくなり，滞在時間の長い施設となっている」ことを挙げていますが，現在の公園の状況のままだと，飲食施設や遊戯施設等を導入してもらいたいというような様々なニーズが満たされない状況となります。

また，目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど，利用者へのサービスが行き届いており，満足度が高い施設となっている」ことを挙げていますが，現在の公園の状況のままだと，バリアフリー化に対する満足度が低い状況などが改善されず，気軽に利用できない，利用者へのサービスが行き届いていない施設として評価され，公園全体としての満足度の低下が懸念されます。

（各公園の特性に係るギャップ）

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て，誰でも何度でも訪れたくなり，滞在時間の長い施設となっている」ことを挙げていますが，以下の理由で利用されない施設となることが懸念されます。

【みよし公園】

・みよし公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが，現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えないことや，周辺の類似施設との差別化が図れず，利用者に認知されないことが予想されます。

【びんご運動公園】

・びんご運動公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが，現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えず，地域活動の場としての利用増加が見込めないことが予想されます。

【せら県民公園】

・せら県民公園は，県下で貴重な自然観察園を有する公園で，かつ，周辺に観光施設が点在している立地特性を有していますが，現在の状況のままだと「自然保護活動・環境学習」の広がりが見込めないことや，周辺の環境変化に対応できず，他の観光施設へ利用者が流出することが予想されます。

（コストに係るギャップ）

目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど，利用者へのサービスが行き届いており，満足度が高い施設となっている」「民間事業者や地域住民等が公園運営にも参画しており，公園全体の魅力が向上し続けている」ことを挙げていますが，現在の公園の状況のままだと，老朽化対策費用の不足で施設の利用制限やサービス低下などが懸念されます。また，民間事業者等の公園運営への参画が見込まれず，結果的に魅力の向上が図れない状況や民間資金の導入が図れない状況が予想され，さらに利用料金による収入が増加しない状況やサービス水準の向上が見込めない状況などを招くなど，負の連鎖が懸念されます。

４－４．目指す姿の実現に向けた課題

前述の「現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ」を踏まえるとともに，各公園の現状や利用者ニーズなどから，目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題を以下に整理しました。

（１）多様化するニーズが満たされていない

公園利用者へのアンケート調査結果では，各公園において，様々な施設整備のニーズ※が挙がっています。目指す姿の実現にあたっては，これらのニーズが高い施設を中心として，ターゲット層の志向を意識しながら，未活用エリア（整備前の未利用地エリアや整備後の低利用エリア）を活性化し，先駆けて多様化するニーズを満たすため，民間のノウハウや資金を活用し，優先順位づけや取捨選択を行いながら，公園全体の魅力を向上させ続ける必要があります。

＊みよし公園でのニーズ
- 《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と，「アスレチック」「キャンプ場」「じゃぶじゃぶ池」「冒険遊び場」「ボルダリング」など，手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- 《地元要望》トイレの洋式化についての要望がある。また，施設・設備に対する要望が多く，具体的には，日陰やベンチ設置など滞在環境の改善，駐車場の位置，トイレ設備の充実，散策路への案内看板の設置等が挙げられている。

＊びんご運動公園でのニーズ
- 《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と，「ボルタリング」「アスレチック」など，手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- 《地元要望》施設・設備に対する要望が多く，具体的には，球技場の芝生化（人工芝も可），ドッグランの整備，陸上競技場の照明料金徴収の在り方，スケートボード場の整備，3on3バスケットコートの整備，ウォーキングコースや歩道の整備，植栽（花）の充実，駐車場の整備，トイレの改善（洋式化，より綺麗に），新しい設備への入れ替え，Wi−Fi 環境，光回線環境の整備等が挙げられている。

＊せら県民公園でのニーズ
- 《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と，「キャンプ場」「冒険遊び場」など，手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- 《地元要望》ワイナリーを目的に来訪する人も多い一方で，子どもと一緒に利用できるサービス（子供向けイベント，飲食メニュー等）の充実を求める声が多い。また，レクリエーション広場へのトイレ追加・洋式化やクロスカントリーコースの整備，駐車場の舗装などの要望がある。

※アンケート結果：令和3年度実施の公園利用者アンケート調査結果

（２）誰もが安心して利用できる多様性への対応が不十分

安全安心に関する満足度は，「バリアフリー化の状況」の項目で満足度が低く，安全安心な施設整備・更新においては，これらを意識した施設整備，更新が必要です。

また，社会的には，子育て世代や高齢者，ダイバーシティなど，利用者の多様性への対応が求められており，多様性のある施設への更新によって，高い満足度を維持し続ける必要があります。

（３）公園毎の特性が十分に生かされていない

県立３公園は，広域のレクリエーション需要を充足するために整備された公園であり，広域利用における各公園の強みを更に強化するとともに，弱みを把握し対応していく必要があります。また，近隣からの利用者が多い傾向や近隣の観光施設が点在する状況等の現状を踏まえ，地域づくり活動の場として活用されるなど，地域に開かれた公園となるための取組が必要です。

①【みよし公園】周辺施設との差別化の必要

- ◆ 利用者の約７割は三次市及び庄原市在住者ですが，「イベントや催し物の開催・参加（33%）」が改善点の上位にあがっており，「地域ならではの取組（37%）」に関する満足度が低いなど，これらを対象とした公園と関わる人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては，三次市及び近隣市町をターゲットとし，地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。
- ◆ 中国自動車道及び尾道自動車道の両方からアクセス可能な三次東インターチェンジの直近に位置する特性を有し，一部，広島市（13%）などの都市部からの利用が見られますが，利用者のほとんどは周辺地域の利用者です。目指す姿の実現にあたっては，この良好なアクセス性を生かした広域的な集客を可能とする本公園ならではの魅力づくりが必要です。

②【びんご運動公園】地域に開かれた公園づくりの必要

- ◆ 利用者の多くは尾道市及び近隣市である福山市，三原市在住者ですが，スポーツ大会・教室を除く地域イベントの開催実績は少なく，「イベントや催し物の開催・参加」が公園の改善点の上位にあがっています。また，「地域ならではの取組」に関する満足度が低い（43%）など，これらを対象とした公園と関わる人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては，尾道市及び近隣市をターゲットとし，地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。

③【せら県民公園】自然活動等の拡大・周辺施設との連携強化の必要

- ◆ 現状でも「せらサポーターズクラブ」等による湿地の保全整備や周辺アカマツ林・雑木林遊歩道の整備，自然観察園・せら台地での里山セミナー実施などのボランティア活動が行われていますが，目指す姿の実現にあたっては，地域活動や自然保護活動・環境学習などを行いやすい環境を継続し，活動を広め，関係人口を増加させる必要があります。
- ◆ 本公園利用者は隣接する「せらワイナリー」を利用している人が多い（83%）状況です。目指す姿の実現にあたっては，周遊する利用者が立ち寄る施設とするため，せらワイナリー等の観光施設との連携を強化し，認知度向上に向けたさらなる広報活動を行う必要があります。

（４）施設の老朽化対策費用の増加などによる利用制限やサービス低下の懸念

各公園は供用開始からの年数の経過に応じて，老朽化に対する必要な費用等が増加する傾向にあり，今後，更新時期を迎える施設数の増加により，ますます，その維持管理・更新費用の増加が見込まれます。

※みよし公園は供用開始から 30 年が経過し，必要な老朽化対策費は２億円／年となっている。
※びんご運動公園は供用開始から 28 年が経過し，必要な老朽化対策費は４億円／年となっている。
※せら県民公園は供用開始から 15 年が経過し，必要な老朽化対策費は１億円／年となっている。

また，各公園では，県からの委託料と利用料金等による収入によって管理運営していますが，適切な管理運営費を確保していくためには利用料金等の収入確保が重要です。

※みよし公園の管理運営費（R1 支出）は約 1.4 億円／年であり，その内訳は，県からの委託料約 1.1 億円，利用料金等収入約 0.3 億円となっている。
※びんご運動公園の管理運営費（R1 支出）は約 2.4 億円／年であり，その内訳は，県からの委託料約 1.5 億円，利用料金等収入は，約 0.9 億円／年となっている。
※せら県民公園の管理運営費（R1 支出）は約 0.2 億円／年を要している。

目指す姿の実現にあたっては，公園経営の視点から，限られた予算の中で，利用者の満足度を維持向上させながら，管理コストの縮減や収入増加へ取り組む必要があります。

こうしたことから，大規模な施設更新にあたっては，日常的な利用状況や大会開催状況と，整備水準との不整合が見られる施設について状況を把握し，更新時の施設水準を適正化する必要があります。

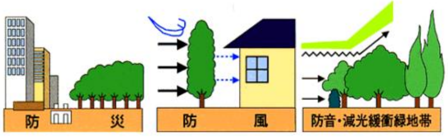
また，維持管理・更新費用の増大が見込まれるなか，県民の健康・スポーツなどの夢や希望への挑戦を後押しする公園を実現するためには，スポーツ振興やレクリエーション機会の創出といった公共の役割にも配慮しつつ，提供するサービスや施設の整備水準，利用料金等の適正化が必要です。現状では特に，利用にかかる管理運営費と利用料負担のバランスについて，施設毎の偏りがみられるため，建設コストや公共の役割なども踏まえ，段階的に是正する必要があります。さらにＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）が世界的に注目されるなか，ＳＤＧｓに着目した整備，維持管理，更新が必要です。

コラム　都市公園の役割

出典）広島県ホームページ

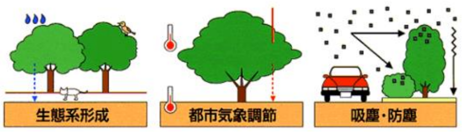
■都市防災

（1）災害時の避難地・避難路　（2）延焼防止
（3）災害応急対策の拠点



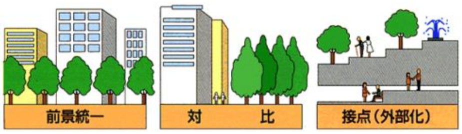
■都市環境の維持・改善

（1）動植物の生息・生育地　（2）都市気象の調節
（3）大気の浄化



■都市景観

（1）美しい都市景観の形成　（2）快適な環境の形成
（3）都市のシンボル　（4）個性的な都市づくり

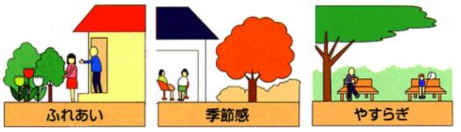


■都市景観

（1）美しい都市景観の形成　（2）快適な環境の形成
（3）都市のシンボル　（4）個性的な都市づくり

■精神的充足

（1）日常生活の中の緑，花，人とのふれあい
（2）心の安らぎ・生きがい
（3）季節感　（4）交流・コミュニティ活動



第５章　基本方針と取組の方向，具体的な取組

5－1．ターゲット層の設定と志向分析

本プランでは，多様な世代を対象としつつ，効率的な効果発現のため，以下に示すようにターゲット層を設定し，重点的に取組を展開します。

（1）ターゲット層の設定

公園利用者の満足度の向上を図るため，公園利用者のうち，利用が多い年齢層をターゲット層とし，その志向を把握しました。

ターゲット層	特　　徴
30 代・40 代を中心としたファミリー層	・「子供と一緒に遊べる・体験できる施設」，「子供が学ぶ施設」を志向（利用目的・希望施設）。その他，「イベントや催し物への参加」，「食事や休憩施設」に興味あり（あれば参加）。
60 代以上のシニア層	・「健康増進」「教室・スクールなど学ぶ・交流する機会」を志向。

（2）ターゲット層の分析

公園利用者アンケートの設問である「満足度」や「ニーズ」（これができればもっと利用する・公園にあればよいと思う施設）について，ターゲット層と全体的な傾向を比較し，特徴を把握しました。

区分	主な特徴
満足度	・満足度が低い項目は，全体傾向とターゲット層で一致している。
ニーズ	・ファミリー層の上位ニーズは，全体傾向と概ね一致している。 ・シニア層（みよし公園・びんご運動公園）には，「健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座」に特に高いニーズがある。

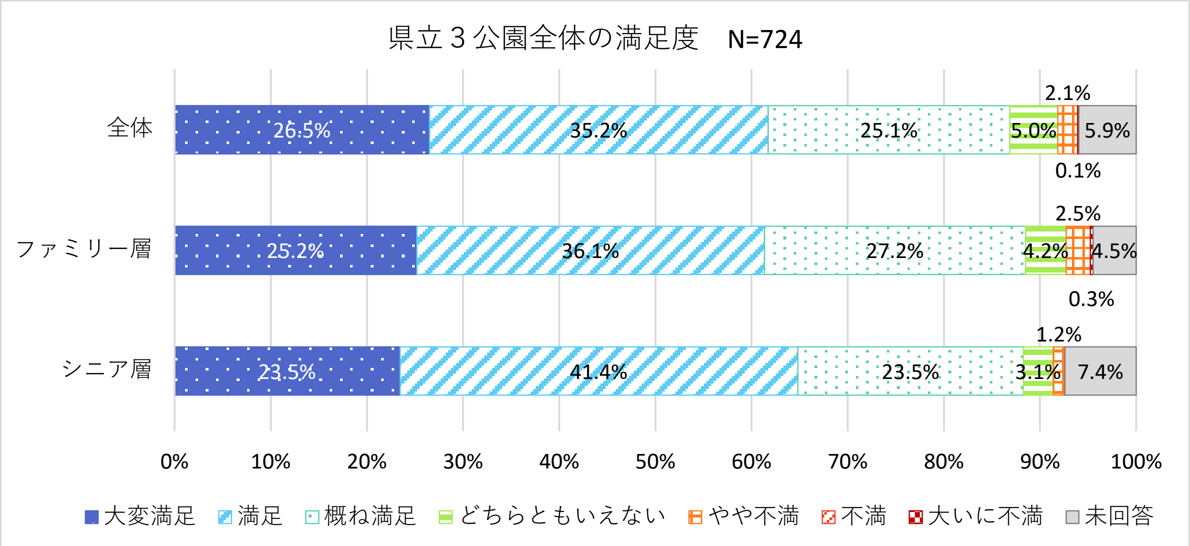


図５-１　県立３公園　ターゲット層ごとの満足度の傾向

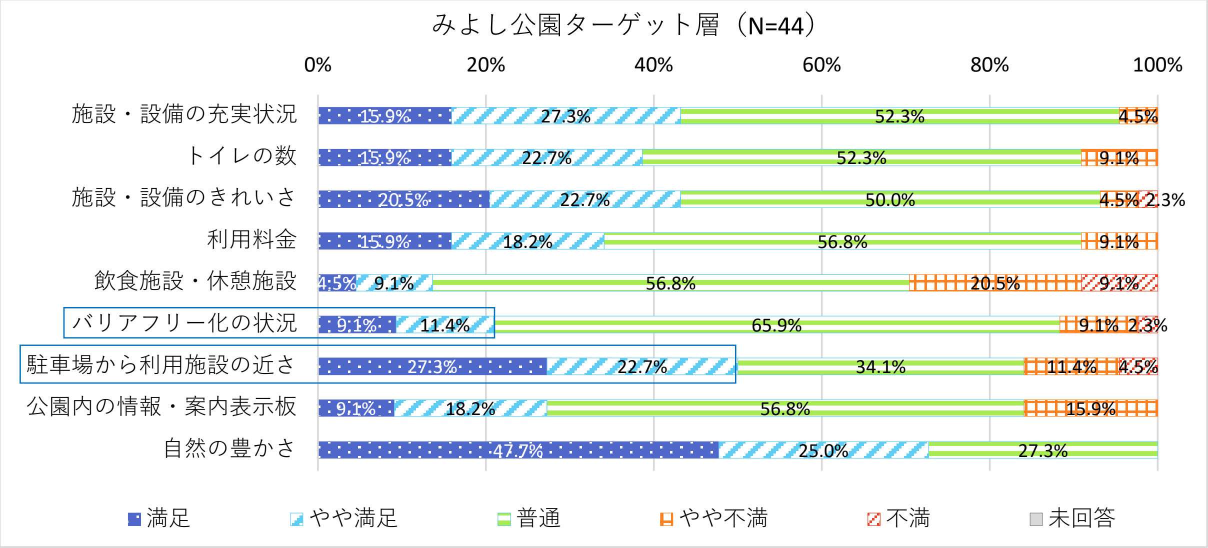


図５-２　みよし公園　ターゲット層の施設面の満足度の傾向

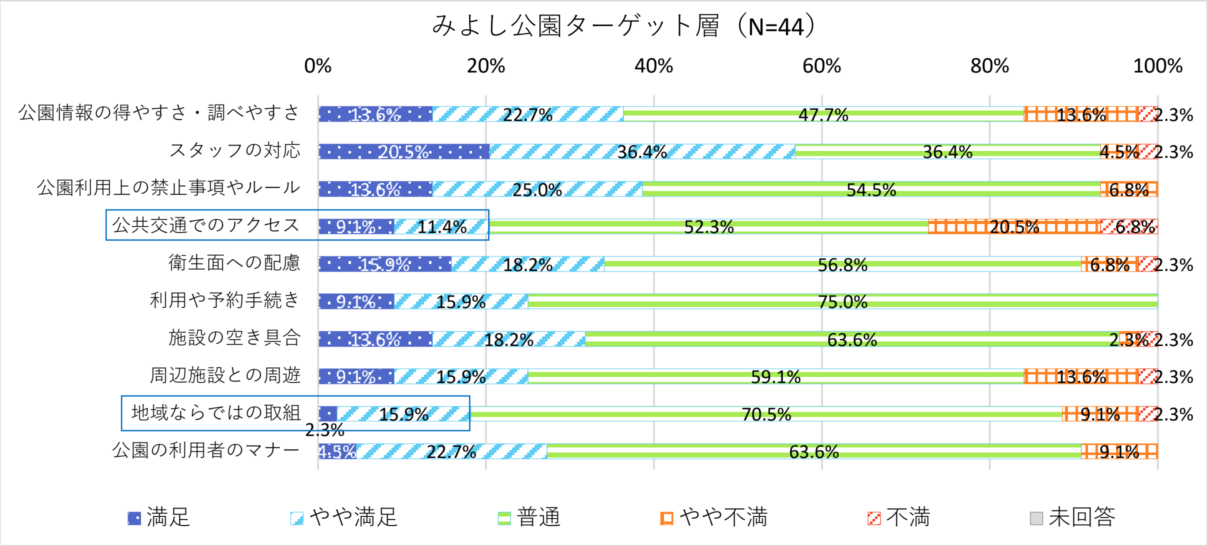


図５-３　みよし公園　ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

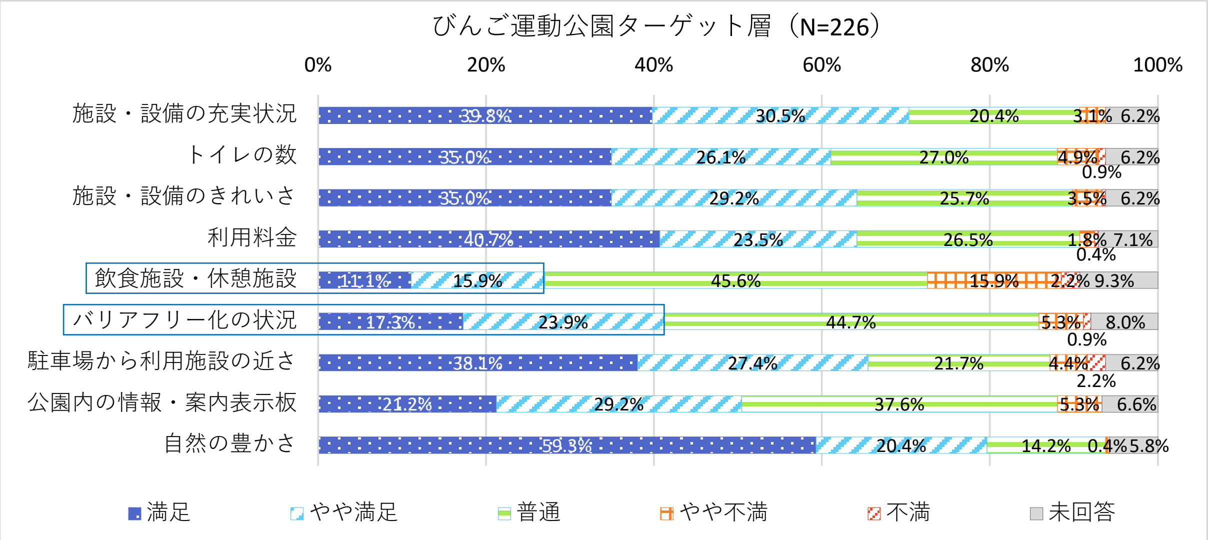


図５-４　びんご運動公園　ターゲット層の施設面の満足度の傾向

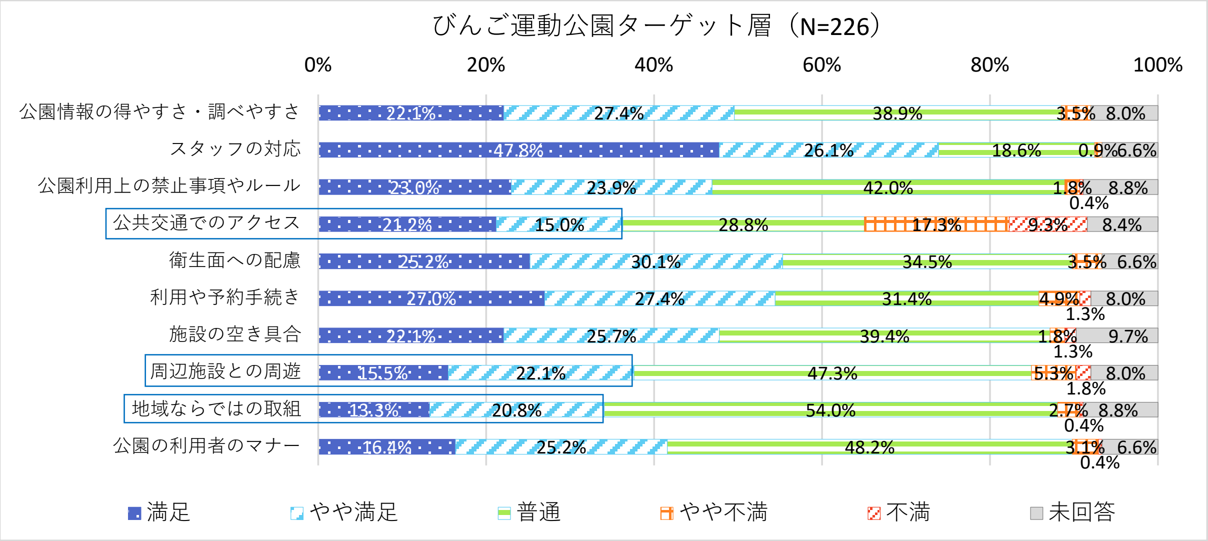


図５-５　びんご運動公園　ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

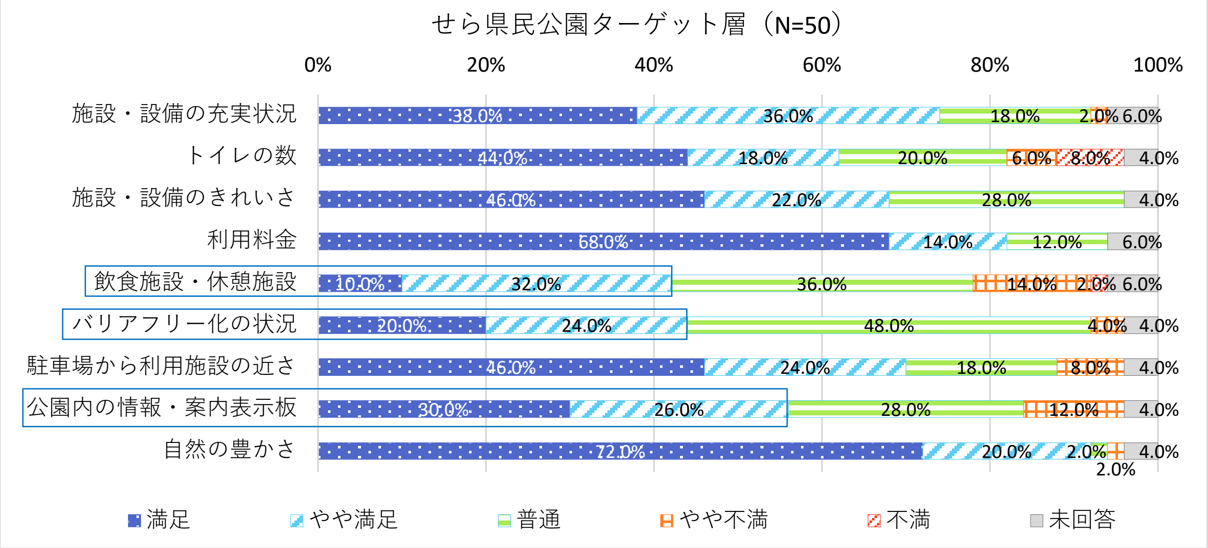


図５-６　せら県民公園　ターゲット層の施設面の満足度の傾向

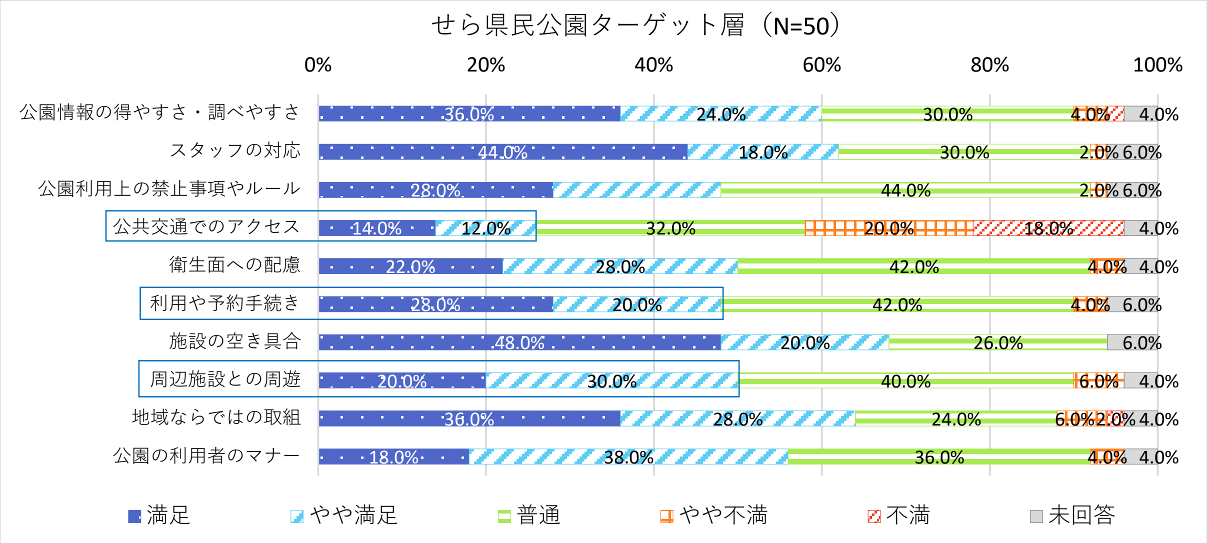


図５-７　せら県民公園　ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

<ターゲット層のニーズ>　　※全体傾向とは，ターゲット層も含めた回答者全員の傾向をいう

ターゲット層	30代・40代ファミリー層	60代以上シニア層
みよし公園	•「できればもっと利用するもの」として，“プロスポーツ観戦”や“イベントや催し物の開催・参加”，“食事や休憩”などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，“子育て世代の講座・交流教室”で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」は，じゃぶじゃぶ池（水遊び場），アスレチックなどのニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られない。	•「できればもっと利用するもの」として，“健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座”，“選手用育成講座・アスリートとの交流教室”，“食事や休憩”のニーズが高く，“食事や休憩”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」は，ドッグラン，アスレチック，カフェ・レストランのニーズが高く，“カフェ・レストラン”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。
びんご運動公園	•「できればもっと利用するもの」として，“プロスポーツ観戦”や“食事や休憩”，“イベントや催し物の開催・参加”などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，“地域ならではの体験”で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」では，“ボルダリング”，“アスレチック”，“じゃぶじゃぶ池（水遊び場）”などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，“冒険遊び場”で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。	•「できればもっと利用するもの」として，“健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座”や“プロスポーツ観戦”，“年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント“のニーズが高い。“プロスポーツ観戦”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」では，カフェ・レストランのニーズが最も高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，“特になし”で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。
せら県民公園	•「できればもっと利用するもの」として，“食事や休憩”や“自然環境保全活動・環境学習”，“イベントや催し物の開催・参加”のニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，“子育て世代の講座・交流教室”や“お得なクーポンや他施設との周遊割引”で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」は，“冒険遊び場”，“アスレチック”のニーズが高い。また，全体傾向と比較した場合，冒険遊び場，じゃぶじゃぶ池（水遊び場）などのニーズが高く，上位ニーズに差が見られる。	•「できればもっと利用するもの」として，“食事や休憩”や“自然環境保全活動・環境学習，“イベントや催し物の開催・参加”，“年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント“のニーズが高い。全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られないが，”フォトスポットでの撮影“で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 •「公園にあればよいと思う施設」は，“カフェ・レストラン”や“キャンプ場”などのニーズが高く，全体傾向と比較した場合，上位ニーズに大きな差は見られない。

リピーターを増やすため，参考として，週１回以上の利用者の利用目的，利用施設，施設・運営に関する満足度についても整理しました。

＜（参考）リピーターの利用目的，利用施設，施設・運営に関する満足度＞

リピーター	利用頻度週１回以上
みよし公園	・“教室・スクール”，“子供を遊ばせる”などを目的にしている方が多く，全体傾向と比較した場合，“健康増進”が多くなっている。 ・“温水プール”，“カルチャーセンター”，“こどもの広場”などの利用が多く，全体傾向と比較した場合，大きな差は見られない。 ・施設満足度は，“自然の豊かさ”が特に高く，“飲食・休憩施設”では低めとなっている。全体傾向と比較すると，“駐車場から利用施設の近さ”で満足が多くなっている一方，“飲食・休憩施設”でやや不満が多くなっている。 ・運営満足度は，“スタッフの対応”が最も高く，全体傾向と比較すると，“利用や予約手続き”について，やや満足が多くなっている。
びんご運動公園	・“健康増進”や“教室・スクール”を目的にしている方が多い。 ・“プール”や“冒険の森”が特に多く利用されている。 ・施設満足度は，“自然の豊かさ”で非常に高い一方，“飲食・休憩施設”で低めとなっている。全体傾向と比較すると，“駐車場から利用施設の近さ”の項目で高くなっている。 ・運営満足度は，“スタッフの対応”で高くなっており，“公共交通でのアクセス”では低めとなっている。全体傾向と比較すると，すべての項目で満足度が高くなっているが，“周辺施設の周遊”ではやや不満，不満が多くなっている。
せら県民公園	・“花や緑など自然鑑賞”や“子供を遊ばせること”を目的とした利用者が多く，全体傾向と比較すると，“教室・スクール”などの目的が多くなっている。 ・“自然観察園”や“交流広場”が特に多く利用されている。 ・施設満足度は，“自然の豊かさ”，“利用料金”で高い一方，“飲食・休憩施設”，“バリアフリー化の状況”で低めとなっている。全体傾向と比較すると，“自然の豊かさ”で満足が多くなっている一方，“バリアフリー化の状況”で普通が多くなっている。 ・運営満足度は，“施設の空き具合”や“スタッフの対応”で高く，“公共交通でのアクセス”で低めとなっている。全体傾向と比較すると，“公園の利用者のマナー”でやや満足が多くなっている一方，“公共交通でのアクセス”で不満が多い。

5－２．基本方針と取組の方向，具体的な取組

「4-4.目指す姿の実現に向けた課題」で整理した課題へ対応する４つの項目に，ベースとなる「安全・安心を支える取組」を加えた５項目を基本方針として，取組の方向や具体的な取組を整理しました。なお，各取組は，急速に変化する社会情勢等を踏まえ，優先順位づけや取捨選択，試行，見直しなどを行いながら，実施していくこととします。

《基本方針１》 多様化するニーズを踏まえた魅力向上

《基本方針２》 誰もが安心して利用できる多様性への取組

《基本方針３》 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

《基本方針４》 経営的視点からのコスト適正化・収入増への取組

《基本方針５》 安全・安心を支える取組

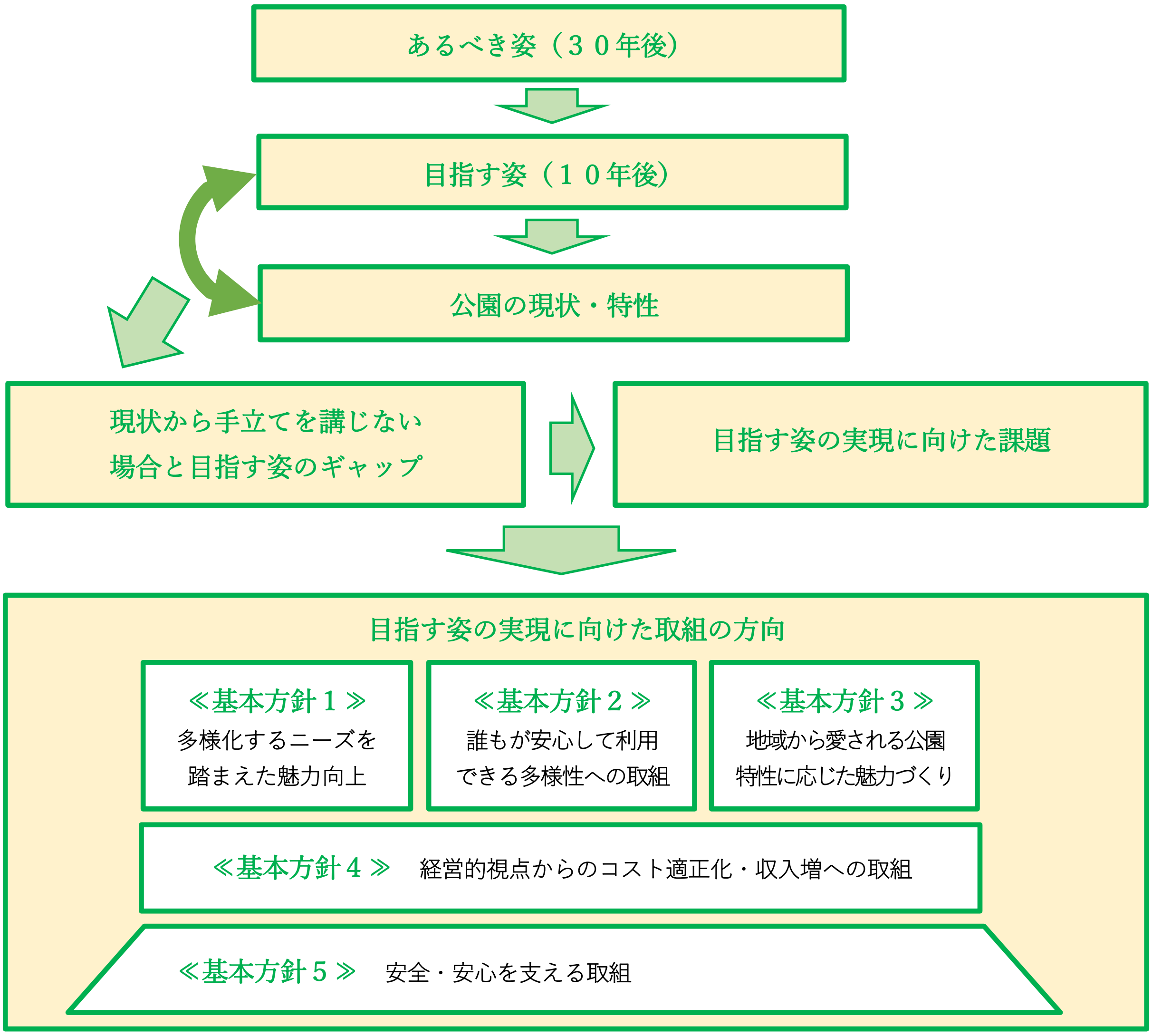


図５-８　あるべき姿から基本方針設定までの流れ

公園の活性化を効果的に進めていくため，取組毎の費用対効果や公園毎の役割，効果発現までに要する時間などを考慮して，重点的な取組を７つ選定しました。

これら７つの取組について，早期に着手し重点的に取り組みつつ，その他の施策も着実に進めていくことで，公園活性化をきっかけとする好循環を生み出し，公園全体の魅力が向上し続ける公園を目指します。

また，特に大きな支出を伴う施策の実施にあたっては，公園経営の観点から，その都度，費用対効果や公園の役割，効果発現までに要する時間などを踏まえて，施策の実施方法や規模などを検討し取り組むこととします。

《基本方針１》多様化するニーズを踏まえた魅力向上

【３公園共通】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向	具体的な取組
①民間のノウハウを活用した魅力向上	○公園敷地の未活用エリアにおいて，民間活力により飲食施設などを導入し，公園の魅力向上を図ります。	•Park-PFIなど民間活力の導入【重点】 ・公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上
②利用者のニーズを踏まえたサービス提供	○利用者ニーズが高いサービスについて導入検討を行い，効果が高いものなどを随時導入していきます。	・キッチンカー等の誘導 ・キャッシュレス化 ・フリーWi-Fi の導入 •開園時間•開園日の拡大
③オープンスペースの魅力向上	○簡易な飲食施設の立地や魅力的な景観形成により，オープンスペースの魅力向上を図ります。	・イベント開催やキッチンカー出店等の手続きの簡素化・スマート化 ・ひろしまはなのわビジョンを踏まえた花や緑に親しむイベント等の実施 ・花や緑を基調とした美しい景観の創出
④利用者のニーズを踏まえた施設更新・整備	○多様化する利用者のニーズを踏まえ，魅力向上のための工夫を施して施設を更新し，必要に応じて整備も検討します。	・魅力向上に資する施設更新・整備【重点】
⑤多様な使い方を誘発	○情報発信や見える化，使い方の幅を広げる工夫（例えば，アーバンスポーツ等の新たな使い方を試行するなど）を積極的に実施します。	•公園利用の見える化•情報発信【重点】 ・公園禁止事項の緩和 ・管理運営者による公園利用案内の強化 •園内での農産物の生産•販売
⑥ＤＸの推進	○公園利用や維持管理に関するＤＸを推進し，公園をより利用しやすくします。	・ｷｬｯｼｭﾚｽ化（再掲） ・利用予約の簡素化 ・ICT 技術を活用した維持管理
⑦継続的なニーズ把握	○公園利用者へのアンケート調査等の実施により，継続的にニーズを把握し，公園の活性化に反映します。	・アンケート調査やデータを活用した利用者の動向分析等の実施

《基本方針２》誰もが安心して利用できる多様性への取組

【３公園共通】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①気軽に利用できる環境づくり※	○子育て世代や高齢者，障害者など，誰もが気軽に利用できるような環境づくりについて検討し，対策を実施していきます。	・バリアフリー化・インクルーシブ化【重点】 ・子育て支援施設の更新
②居心地の良い環境づくり※	○施設更新時や空間形成時において，様々な工夫により，長時間滞在できる居心地が良い環境を形成します。	・トイレの洋式化・タッチレス化 ・わかりやすい園内表示の工夫 ・安心して見守りができる環境形成 ・フリーWi-Fi の導入（再掲）

※SDGs への配慮（３：すべての人に健康と福祉を）

《基本方針３》地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

【３公園共通】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①多様な主体の参画を誘発※	○地域住民やボランティア団体，民間企業など，多様な主体が参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	・民間の CSR 活動・NPO 活動を推進【重点】 ・多様な市民グループによる活動やイベント等を誘発
②地域活動を誘発する環境づくり※	○地域住民と公園との関わりを形成するための仕組みづくりを行います。 ○地域住民が花や緑等の自然に関わる場として公園を提供するとともに，関係する個人や団体が主体的に交流し，連携しやすい環境をつくり，地域づくりの担い手育成へも貢献します。	・サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり【重点】 ・多様な市民グループの企画による活動やイベント等を誘発（再掲） ・地域づくりプラットフォーム等への参画 ・都市公園法第 17 条の 2 に基づく協議会の設置（利用者の利便性の向上）

※SDGs への配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

【みよし公園】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①広島圏域からも集客できる魅力づくり	○人口が集中する広島圏域から集客するための工夫や仕組みづくりを行います。	・広域利用者の優遇措置の検討

【みよし公園・びんご運動公園】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①文化活動・企業研修を誘発	○スポーツ・レクリエーションのみでなく，公園での文化活動や企業研修等の実施を推進します。	・文化活動・子育て教室等の強化 ・企業研修の場としてのＰＲ強化 ・体験イベントや音楽会，学術講演，ブライダル撮影などの実施検討
②スポーツを核とした交流	○スポーツによる交流を継続，発展させていきます。	・プロスポーツ選手等による指導の強化 ・スポーツ交流イベントの実施 ・スポーツ合宿の誘致 ・各種運動教室（健康増進や体力増強等）の強化 ・アーバンスポーツやニュースポーツ等の導入検討

【せら県民公園】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①自然活動や環境学習を誘発する環境づくり※	○県内でも貴重な自然観察園を活用した活動を推進するための環境づくりを行います。	・環境学習を通じたコミュニティ活動等に取り組みやすい環境づくり ・自然を活用した森林セラピー等の導入検討 ・都市緑化や生物多様性に係る専門人材の配置
②周辺施設からの利用誘導※	○周辺の観光・レクリエーション施設と連携した活性化について検討し，具体的な施策を実施していきます。	・観光周遊コースの醸成 ・地域づくりプラットフォームへの参画（再掲） ・スタンプラリー等の連携事業の実施

※SDGs への配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

コラム

公園内での自然保護活動の事例

せら県民公園の自然観察園では，三原市及び世羅町の各所で活動する「ヒョウモンモドキ保全地域協議会」の協力により，三原市の小学校や世羅町の小・中学校及び高校でヒョウモンモドキの飼育や観察に取り組んでおり，公園等での自然活動や環境学習を通じて将来を担う地域の子供たちの意識を高める取組が広がっています。

野アザミの密を吸うヒョウモンモドキ

《基本方針４》経営的観点からのコスト適正化・収入増への取組

【３公園共通】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①新たな維持管理手法の導入	○新たな公園利用者を開拓し，利用者の満足度の向上や滞在時間を拡大させるため，現行の指定管理者制度の活用と合わせて，Park-PFI などによる民間活力を導入することで，公園全体の魅力向上や公園での収益性の向上を図るとともに，公園整備や管理運営に係る財政負担の軽減も図ります。	・Park-PFIなど民間活力の導入（再掲） ・公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上（再掲） ・キッチンカー等の誘導（再掲）
②新たな資金調達手法の導入	○民間からの新たな資金調達手法の導入を図るとともに，広大な公園敷地を有効活用し，クリーンエネルギー発電によるコスト縮減や収益向上について検討します。	・ネーミングライツの導入 ・寄付制度やクラウドファンディングの導入 ・クリーンエネルギーを活用した収益の向上検討
③利用実態に即した施設更新	○施設の利用実態と施設水準とのミスマッチを洗い出し，適正な施設更新を行います。	・詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映
④利用料金の適正化	○支出と収入（利用料金等）との差が大きい施設について抽出し，利用料金の適正化を図ります。	・公共コストの適正化【重点】 ・ダイナミックプライシングの導入検討
⑤多様な主体の参画を誘発（再掲）	○地域住民やボランティア団体，民間企業など，多様な主体が公園の管理運営に参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	・民間の CSR 活動・NPO 活動を推進（再掲） ・サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり（再掲）
⑥コスト縮減	○計画的な施設更新によりトータルコストの削減を図るとともに，施設更新時において，コスト縮減に資する対策を随時実施します。	・LED 化・ローメンテナンス植栽の採用 ・公園修繕方針に基づく適切な施設更新によるトータルコストの削減

コラム　ネーミングライツの導入事例

ネーミングライツとは，法人名やブランド名等を，公共施設の愛称として付与する権利（命名権）のことです。

みよし公園・びんご運動公園では，公園への愛着と収入を増加させる取組として，令和4年２月１日からネーミングライツを導入し，みよし公園は「電光石火みよしパーク」に，びんご運動公園は「こざかなくんスポーツパークびんご」という愛称での運用を始めました。

ネーミングライツパートナー契約締結式の様子

《基本方針５》安全・安心を支える取組

地球温暖化を背景として，自然災害の激甚化が顕著となってきています。広島県においても平成 26 年８月豪雨や平成 30 年７月豪雨では多くの貴重な人命が失われました。県立３公園のうち，特にみよし公園及びびんご運動公園は防災機能を有する公園として，防災機能の強化が重要となります。

これらを踏まえ，県立３公園の活性化においては，活性化を支える基盤づくりとして，安全・安心を支える取組に対して積極的に取り組みます。

【３公園共通】

項　　目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①防災拠点としての機能確保や活用強化※	○防災拠点として，求められる経年的な変化に対応した機能確保を図るとともに，防災機能を高めるための新たな公園活用を推進します。	・防災対応機能（耐震・電力）の確保 ・防災訓練の場としての活用の誘導や防災学習を兼ねたイベントの実施
②公園施設の適切な維持管理※	○安全・安心な公園利用を行うため，維持管理を適切に実施していきます。	・計画的な大規模改修・修繕の実施 ・DX を活用した獣害対策
③グリーンインフラの視点による防災機能の強化※	○公園施設の更新において，グリーンインフラの視点により，防災機能の強化を推進します。	・園路など雨水浸透化
④カーボンニュートラルへの対応※	○クリーンエネルギーの活用によりカーボンニュートラルに貢献します。	・太陽光などクリーンエネルギーの活用 ・森林の適切な管理

※SDGs への配慮（11：住み続けられるまちづくりを）（13：気候に具体的な対策を）

コラム　クリーンエネルギーの活用事例

みよし公園（カルチャーセンター）や，びんご運動公園（健康スポーツセンター）では，太陽光パネルや蓄電池を設置して，通常時の光熱費削減に役立てているほか，非常時の電力供給源としても活用しています。

また，みよし公園においては，プールの加温や冷暖房・給湯に地中熱エネルギーを活用しています。

みよし公園　カルチャーセンター屋上太陽光パネル，温水プール（熱源システム図）

第６章　公園活性化に向けたアクション

県立３公園の活性化に向けて，前述の基本方針や取組の方向に対応した具体的な取組の展開について，以下に示します。

■アクションの実施について

各施策は，施策の実施によって得られる効果やそれにかかる投資コスト，効果発現までに要する時間，公共的な役割等を踏まえた上で取捨選択し，着手する時期や実施のスピードなど，優先順位を付けながら実施していきます。

また，右図に示すように，小規模または部分的な範囲で効果の計測や課題把握ができるものについては，取組毎に効果の計測や問題の把握を行いながら実施・試行していき，結果的に効果が大きいものや問題がないものは随時，対象やエリアを拡大していきます。

一方，効果が小さく問題があるものは，随時改善していき，再試行や再実施を行います。

このように，急速に変化する社会情勢などを踏まえ，取組毎のＰＤＣＡを回しつつ，計画期間に示す，短期・中期の各区分においてもプラン自体を見直し，効果検証・改善を行います。

また，短期終了時（令和７年度）には，見直しにあたって参考とする中間目標値を次のとおり設定して効果検証・改善を行います。

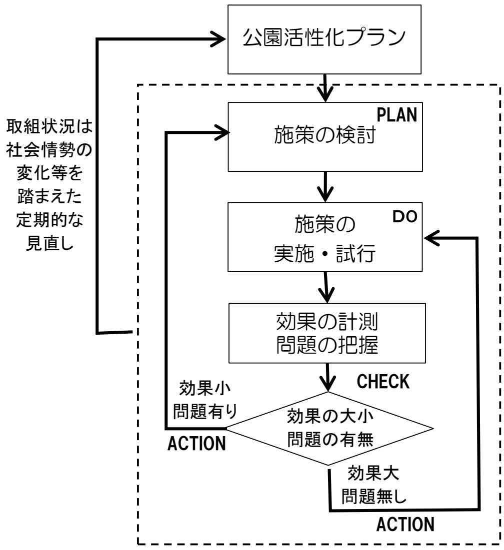


図６-１　公園活性化プランの
PDCA サイクルイメージ

	中間目標値 （令和７年度）	目標指標 （令和 12 年度）
利用者数	１７７万人	１８２万人
満足度	約９０%	約９０%

■他の県立公園や関係部署との連携について

県内には，本プランの対象外の都市公園や，自然公園などがあります。各公園の設置目的，設置エリア，所有施設等の違いを踏まえた上で，関係部署との連携・連動を図りながら進めていきます。また，施策の実施内容などについて，今後も関係部署との情報共有を図り，プランの見直し，改善を行いながら実施していくこととします。

■ひろしまはなのわ魅力推進協議会との連携について

本プランへは，「ひろしまはなのわビジョン※」で示す，花や緑に親しむ機会の創出や緑地の保全，地域づくりの担い手の育成等の施策への取組みも盛り込まれており，これらの実施にあたっては，関係団体や協議会等との情報共有や連携を図りながら進めていきます。

※「ひろしまはなのわビジョン」は，第 37 回全国都市緑化ひろしまフェアの開催を契機として設立した「ひろしまはなのわ魅力推進協議会」において策定した，花や緑の持つ多面的な機能を活かした地域づくり推進のためのビジョンです。

基本方針１：多様化するニーズを踏まえた魅力向上

取組の方向１：民間のノウハウを活用した魅力向上

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	Park-PFI など民間活力の導入【重点】	基本構想・公募・選定		運営			
2	公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上	実施中					

取組の方向２：利用者のニーズを踏まえたサービス提供

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	キッチンカー等の誘導	公募試行	改善試行	実施			
2	キャッシュレス化	検討 一部導入	拡大		全面実施		
3	フリーWi-Fi の導入	検討 試行	必要に応じて実施				
4	開園時間・開園日の拡大	必要に応じて実施					

取組の方向３：オープンスペースの魅力向上

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	イベント開催やキッチンカー出店等の手続きの簡素化・スマート化	検討	試行	実施			
2	ひろしまはなのわビジョンを踏まえた花や緑に親しむイベント等の実施	実施					
3	花や緑を基調とした美しい景観の創出	検討				実施	

取組の方向４：利用者のニーズを踏まえた施設更新・整備

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	魅力向上に資する施設更新・整備【重点】	随時実施※					

※利用者のニーズやコスト，施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し，施設毎に個別に判断して実施します。

取組の方向５：多様な使い方を誘発

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	公園利用の見える化・情報発信【重点】	検討・実施					
2	公園禁止事項の緩和（バーベキューなど）	検討 試行	試行	実施			
3	管理運営者による公園利用案内の強化			検討	調整	試行	実施
4	園内での農産物の生産・販売	検討			試行	実施	

取組の方向６ ：ＤＸの推進

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	キャッシュレス化（再掲）	検討 導入	拡大		全面実施		
2	利用予約の簡素化	検討	一部 試行	拡大	全面実施		
3	ICT技術を活用した維持管理	検討・試行				実施	

取組の方向７ ：継続的なニーズ把握

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	アンケート調査やデータを活用した利用者の動向分析等の実施	随時実施・反映					

基本方針２：誰もが安心して利用できる多様性への取組

取組の方向１：気軽に利用できる環境づくり※

※SDGs への配慮（３：すべての人に健康と福祉を）

<table>
<tr><th colspan="2">（３公園共通）</th><th colspan="4">短期
(R4~R7)</th><th>中期
(R8~R12)</th><th>長期
(R13~)</th></tr>
<tr><td>1</td><td>バリアフリー化・インクルーシブ化【重点】</td><td>計画整備</td><td colspan="3">整備</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>子育て支援施設の更新</td><td></td><td></td><td>調査</td><td>計画</td><td>整備</td><td></td></tr>
</table>

取組の方向２：居心地の良い環境づくり

<table>
<tr><th colspan="2">（３公園共通）</th><th colspan="4">短期
(R4~R7)</th><th>中期
(R8~R12)</th><th>長期
(R13~)</th></tr>
<tr><td>1</td><td>トイレの洋式化・タッチレス化</td><td>計画整備</td><td colspan="2">整備</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>わかりやすい園内表示の工夫</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>3</td><td>安心して見守りができる環境形成</td><td></td><td></td><td>課題整理</td><td>調整</td><td colspan="2">実施</td></tr>
<tr><td>4</td><td>フリーWi-Fi の導入（再掲）</td><td>検討試行</td><td colspan="5">必要に応じて実施</td></tr>
</table>

基本方針３：地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

取組の方向１ ：多様な主体の参画を誘発※

※SDGs への配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	民間の CSR 活動・NPO 活動を推進【重点】	検討 試行	試行	実施			
2	多様な市民グループによる活動やイベント等を誘発	検討 試行	試行	実施			

取組の方向２ ：地域活動を誘発する環境づくり

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり【重点】	検討	調整	実施			
2	多様な市民グループによる活動やイベント等を誘発（再掲）	検討 試行	試行	実施			
3	地域づくりプラットフォーム等への参画	検討	試行			実施	
4	都市公園法第 17 条の２に基づく協議会の設置					試行	実施

取組の方向３ ：広島圏域からも集客できる魅力づくり

（みよし公園）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	広域利用者の優遇措置の検討			検討	調整	試行	実施

取組の方向４ ：文化活動・企業研修を誘発

（みよし公園・びんご運動公園）		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	文化活動・子育て教室等の強化	実施	実施	実施
2	企業研修の場としてのＰＲ強化	実施	実施	実施
3	体験イベントや音楽会, 学術講演, ブライダル撮影などの実施検討	試行	実施	実施

取組の方向５ ：スポーツを核とした交流

（みよし公園・びんご運動公園）		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	プロスポーツ選手等による指導の継続	実施	実施	実施
2	スポーツ交流イベントの実施	検討試行（R4）→ 実施	実施	実施
3	スポーツ合宿の誘致	実施	実施	実施
4	各種運動教室（健康増進や体力増強など）の強化	実施	実施	実施
5	アーバンスポーツやニュースポーツ等の導入検討	試行	実施	実施

取組の方向６ ：自然活動や環境学習を誘発する環境づくり

（せら県民公園）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	環境学習を通じたコミュニティ活動等に取り組みやすい環境づくり	検討	調整	試行	実　施		
2	自然を活用した森林セラピー等の導入検討			検討	調整	試行	実施
3	都市緑化や生物多様性に係る専門人材の配置	調査	検討	調整	試行	実施	

取組の方向７ ：周辺施設からの利用誘導

（せら県民公園）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	観光周遊コースの醸成			検討	調整	試行	実施
2	地域づくりプラットフォーム等への参画（再掲）	検討	試行			実施	
3	スタンプラリー等の連携事業の実施	検討 試行	試行	実施			

基本方針４：経営的観点からのコスト適正化・収入増への取組

取組の方向１：新たな管理運営手法の導入

（３公園共通）		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	Park-PFI など民間活力の導入（再掲）	基本構想・公募・選定 → 運営	運営	運営
2	公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上（再掲）	随時実施	随時実施	随時実施
3	キッチンカー等の誘導（再掲）	公募試行 → 改善実施 → 実施	実施	実施

取組の方向２：新たな資金調達手法の導入

（３公園共通）		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	ネーミングライツの導入	実施中	実施中	実施中
2	寄付制度やクラウドファンディングの導入	検討 → 調整 → 実施	実施	実施
3	クリーンエネルギーを活用した収益の向上検討	検討 → 調整	実施	実施

取組の方向３：利用実態に即した施設更新

（３公園共通）		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映	随時実施※	随時実施※	随時実施※

※利用者のニーズやコスト，施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し，施設毎に個別に判断して実施します。

取組の方向４：利用料金の適正化

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	公共コストの適正化【重点】	検討	調整・試行		段階導入	実施	
2	ダイナミックプライシングの導入検討	調査	検討	調整	実施		

取組の方向５ ：多様な主体の参画を誘導（再掲）

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	民間の CSR 活動・NPO 活動を推進(再掲)	検討 試行	試行	実施			
2	サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり（再掲）	検討 試行	調整	実施			

取組の方向６ ：コスト縮減

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	LED 化・ローメンテナンス植栽の採用	随時実施					
2	公園修繕方針に基づく適切な施設更新によるトータルコストの削減	実施中					

基本方針５：安全・安心を支える取組

取組の方向１：防災拠点としての機能確保や活用強化

（みよし公園・びんご運動公園）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	防災対応機能（耐震・電力）の確保				実施		
2	防災訓練の場としての活用の誘導や防災学習を兼ねたイベントの実施	試行				実施	

取組の方向２：公園施設の適切な維持管理

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	計画的な大規模改修・修繕の実施				随時実施※		
2	DX を活用した獣害対策				実施中		

※利用者のニーズやコスト，施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し，施設毎に個別に判断して実施します。

取組の方向３：グリーンインフラの視点による防災機能の強化

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	園路など雨水浸透化			検討	調整	試行	実施

取組の方向４：カーボンニュートラルへの対応

（３公園共通）		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	太陽光などクリーンエネルギーの活用				随時実施※		
2	森林の適切な管理	検討 試行	一部 導入	拡大		実施	

※利用者のニーズやコスト，施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し，施設毎に個別に判断して実施します。

ひろしま公園活性化プラン

～将来にわたって愛され続ける公園であるために～

令和４(2022)年３月　策定

広島県　土木建築局　都市環境整備課

〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52

TEL：082-513-4142